

—総括表—		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>長津田地区は、人口が4万人を超え、世帯数、面積ともに区内で最大の地区である。1連合、1地区社協、1地区民児協があり、連合には29の自治会で構成される。地区全体では、高齢化率は18.78%と区内で最も低い、自治会ごとに見ると高齢化が40%に迫る自治会がある。一方で、子育て世代が多い自治会があるなど、自治会ごとの課題は様々であり、地区全体で課題を捉えるのではなく、自治会ごとの課題の確認と解決に向けた取組みが必要である。</p> <p>また、令和3年度は、コロナ禍が続く地域活動が停滞し、外出の機会が少なくなり「日常生活動作が低下した」「認知症が進んだ」等、要介護状態に陥ったとの相談が増えている。また、地域活動の停滞に伴って、担い手不足が顕在化してきた状況である。</p> <p>これを受け、今年度は地域活動を再生すべく、地域と地域ケアプラザとのつながりを再構築すると共に、既存のネットワークを活性化させ、「地域の見守り、支え合い」を強化していく。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	ICT普及活動を各町内での普及啓発、講座開催する。各エリアとのつながり再構築と「集いの場づくり」等の地域に必要な取組みができるように支援していく。
■	<input type="checkbox"/>	「長津田ささえあいネット」の「見守り活動」を活性化するため、地域、協力事業者向けの定期的な通信紙を発行し、協力事業者の拡充とともに連携強化をすすめていく。
■	<input type="checkbox"/>	地区内3か所の移動販売実施とともに、実施を通じた地域の交流・つながりづくり及び実施拠点でのボランティア育成を支援する。また買い物に行くことが困難な高齢者の把握や現地で適時生活上の相談を受付ける。
	<input type="checkbox"/>	「向こう三軒両隣委員会」の各部会(ささえあいネット部会、高齢者福祉部会、こども・子育て部会)で作成した情報紙を地域に配布する。また、活用状況を把握して次の情報発信につなげる。
■	<input type="checkbox"/>	長津田地区の子育て世帯の交流のきっかけとなる場をつくるため、子育て支援や父親育児支援についての連続講座を開催する。講座を通じて、ボランティアを含め多世代交流につなげていく。
	<input type="checkbox"/>	自治会単位の「見守り」や「集いの場づくり」につなげられるように、地域ケア会議を自治会単位やエリア内で開催する。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT普及活動グループ「今からスマホ」は自主グループとして活動する。担い手も増えオンラインのスマホ講座を1回開催した。出前講座は、地域のつどいの場で1回開催する。 ・向こう三軒両隣まちづくり運営委員会 「ささえあいネット部会」では昨年度、更新した通信紙を6月に全戸配布した。また、新規登録事業者が新たに2団体加わった。 「高齢者福祉部会」では、高齢者に必要な情報を届けることを目的に、広報紙(移動販売・ケアプラザの周知)の新規作成及び一昨年度作成した買い物情報紙の更新を行った。 「こども・子育て部会」では、子育て世帯の孤立化防止をテーマとし、情報が行き届いていない人に向け、令和3年度作成した子育て情報紙の更新を行った。 ・移動販売 地区内3か所とも「人とのつながり」「安心感」を感じられる場、「見守り」の場、個別のケースの相談に繋がる場となり定着した。1か所で買い物支援ボランティアは継続的に活動できている。また定期的な振り返りの機会を実施している。 ・子育て支援者の担い手不足を優先課題とし、地域子育て支援拠点いっぽと共催で「子育てボランティア養成講座」を3回連続で実施し、各施設1名ずつではあるが新たな担い手を発掘できた。昨年度に続き「パパ育児応援講座」を2回連続で開催した。 ・個別ケース地域ケア会議を民生委員、薬局、警察等と開催した。関係者同士のネットワーク構築を図り、家族の負担軽減や地域でできることについて話し合いを行った。包括レベル地域ケア会議は、ささえあいネット部会・協力事業者とともにエリア内の事例を共有することを目的として開催を予定。 		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
<p>コロナ禍で、様々な制約がある中、担い手発掘につながるような講座の実施など、積極的な取組をありがとうございました。また、地域の中で移動販売の取組を進める際には、買い物支援にとどまらず、担い手育成やコミュニティ形成につなげるなどの成果が生まれていることは、職員の皆さんの後方支援の賜物かと思えます。また、これまでつながりの少なかった自治会や団体との関係づくりについては、次年度以降の事業展開や相談対応にも生きてくるかと思えますので、引き続き進めてくださることを期待しています。</p> <p>また、みどりのわ・ささえあいプランの推進支援についても、向こう三軒委員会各部会と連携しながら、丁寧な支援を進めることで、地域での取組も進んできています。引き続き、みどりのわ・ささえあいプランへの積極的な関わりをお願いします。</p>		

令和4年度長津田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	市の公共施設であることを認識して、常に地域住民や利用者の視点に立った対応に心掛けます。情報提供に当たっては、正確な情報を収集した上で、分かりやすく説明します。介護保険サービス事業者を紹介する際は、複数の事業者の情報を伝えて不利益が生じないようにします。	朝夕のミーティング、各部門会議にて事故報告やヒヤリハットを共有し、再発を防止します。また、コンプライアンスや個人情報保護に関する研修を全職員に実施し、法令に基づいた業務を行います。
実績	利用者や家族の立場に立ち、ホームページ等を活用し、複数の選択肢の提示や丁寧な説明により、本人の自己選択、自己決定を支援し、公正中立に業務に取り組みました。	職員会議において、コンプライアンス研修及び個人情報研修を実施し、定期的に職員会議部門会議で周知を実施しました。法人内のルールに従って個人情報の保護に取り組みました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	地域全体で介護予防が進められるように、地域で行われる活動への参加を意識したケアプランを作成します。また、居宅介護支援事業所への委託については、委託先が偏らないようにします。	利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるようなケアプランを作成し支援を行うと共に、利用者家族が身体的・精神的負担を軽減できるよう努めます。
職員体制	常勤職員：4名 非常勤職員：2名	常勤職員：2名 非常勤職員：2名
契約者数	282名	129名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者一人ひとりの生活を大切に、その人らしく生き生きと健康が維持できるようにサービス提供します。また、家族からの生活相談にも対応し、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるようにします。		
実施体制	【実施日数】 359日(12/29～1/3除く) 【提供時間】 10:15～15:20 【定員】 35名(第1号通所事業含む)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	【1割負担】 要介護1)608円 要介護2) 719円 要介護3)829円 要介護4) 939円 要介護5)1,050円 入浴加算Ⅰ)43円 個別機能訓練加算Ⅰイ)60円 体制強化加算Ⅱ)20円 認知症加算)65円 介護職員処遇改善加算Ⅰ)所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算します。 介護職員特定処遇改善加算Ⅰ)所定単位数に(Ⅰ)1000分の12を乗じた単位数を加算します。 介護職員等ベースアップ等支援加算)所定単位数に1000分の11を乗じた単位数を加算します。 ※2割・3割負担は省略		
職員体制	管理者 1名(常勤) 生活相談員 4名(常勤3名、非常勤兼務1名) 看護師 5名(非常勤兼務5名) 介護職員 9名(常勤兼務1名、非常勤兼務8名) 機能訓練指導員7名(非常勤兼務7名)		
契約者数等	【延べ利用者数】 7702名 【契約者数】 98名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「長津田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,222,000	1,683,010	18,905,010	18,949,006	△ 43,996	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0	0	0	
横浜市による運営支援		503,000	503,000	0	503,000	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	5,000	0	5,000	0	5,000	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他	5,000		5,000		5,000	
その他	50,000		50,000		50,000	
収入合計	17,277,000	2,186,010	19,463,010	18,949,006	514,004	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,649,996	0	12,649,996	12,368,880	281,116	
本俸	10,656,996		10,656,996	9,294,868	1,362,128	
社会保険料	930,000		930,000	1,014,203	△ 84,203	
手当計	931,000		931,000	1,983,507	△ 1,052,507	
健康診断費	30,000		30,000	7,638	22,362	
勤労者福祉共済掛金	20,000		20,000	6,750	13,250	
退職給付引当金繰入額	82,000		82,000	61,295	20,705	
その他			0	619	△ 619	
事務費	200,000	0	200,000	1,921,613	△ 1,721,613	
旅費	20,000		20,000	14,238	5,762	
消耗品費	100,000		100,000	548,681	△ 448,681	
会議ठीい費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	6,000		6,000	928	5,072	
通信費	4,000		4,000	323,853	△ 319,853	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	10,000		10,000	0	10,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	9,836	△ 9,836	
職員等研修費	10,000		10,000	1,862	8,138	
振込手数料	5,000		5,000	27,852	△ 22,852	
リース料	30,000		30,000	230,729	△ 200,729	
手数料			0	6,071	△ 6,071	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他			0	757,563	△ 757,563	
事業費	2,420,000	0	2,420,000	35,408	2,384,592	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	2,378,000		2,378,000	35,408	2,342,592	
その他			0	0	0	
ICT整備費 (追加)	0	0	0	200,000	△ 200,000	
ICT整備費 (追加)			0	200,000	△ 200,000	
サニタリーボックス (追加)	0	0	0	4,922	△ 4,922	
サニタリーボックス			0	4,922	△ 4,922	
管理費	4,080,000	0	4,080,000	6,495,302	△ 2,415,302	
光熱水費	2,200,000		2,200,000	4,317,104	△ 2,117,104	
清掃費	970,000		970,000	939,356	30,644	
機械整備費	235,000		235,000	232,180	2,820	
設備保全費	675,000	0	675,000	606,958	68,042	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	197,088	2,912	
消防設備保守	45,000		45,000	23,643	21,357	
電気設備保守	100,000		100,000	79,514	20,486	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	24,385	5,615	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	300,000		300,000	282,328	17,672	
共益費			0	0	0	
その他			0	399,704	△ 399,704	
修繕費	474,000		474,000	1,761,871	△ 1,287,871	予算・指定額
公租公課	△ 2,558,000	0	△ 2,558,000	0	△ 2,558,000	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他	△ 2,558,000		△ 2,558,000		△ 2,558,000	
その他			0	0	0	
支出合計	17,265,996	0	17,265,996	22,787,996	△ 5,522,000	
差引	11,004	2,186,010	2,197,014	△ 3,838,990	6,036,004	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	2,378,000	0	2,378,000	35,408	2,342,592	
自主事業 収支	△ 2,378,000	0	△ 2,378,000	△ 35,408	△ 2,342,592	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大目内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度「長津田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,298,000		29,298,000	29,298,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,035,000		2,035,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	28,301	△ 28,301	
印刷代				0	0	
自動販売機手数料				0	0	
その他				28,301	△ 28,301	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	37,289,000	0	37,289,000	35,282,301	2,006,699	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	37,913,050	0	37,913,050	30,387,212	7,525,838	
本俸	21,198,050		21,198,050	15,626,600	5,571,450	
社会保険料	8,491,000		8,491,000	3,893,507	4,597,493	
手当計	6,412,000		6,412,000	9,681,724	△ 3,269,724	
健康診断費	120,000		120,000	41,710	78,290	
勤労者福祉共済掛金	200,000		200,000	32,250	167,750	
退職給付引当金繰入額	1,492,000		1,492,000	1,109,565	382,435	
その他			0	1,856	△ 1,856	
事務費	200,000	0	200,000	1,274,421	△ 1,074,421	
旅費	25,000		25,000	12,409	12,591	
消耗品費	60,000		60,000	184,899	△ 124,899	
会議滞在費	7,000		7,000	0	7,000	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	10,000		10,000	437,533	△ 427,533	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）				0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	178,355	△ 128,355	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	2,614	386	
職員等研修費	10,000		10,000	82,542	△ 72,542	
振込手数料			0	7,552	△ 7,552	
リース料	20,000		20,000	61,331	△ 41,331	
手数料	5,000		5,000	1,409	3,591	
地域協力費			0	0	0	
その他	0		0	305,777	△ 305,777	
事業費	2,096,950	0	2,096,950	272,500	1,824,450	
協力医	630,000		630,000	147,000	483,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,092,950		1,092,950	0	1,092,950	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	125,500	28,500	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000		220,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
その他			0	0	0	
管理費	1,084,000	0	1,084,000	1,832,083	△ 748,083	
光熱水費	550,000		550,000	1,147,584	△ 597,584	
清掃費	249,000		249,000	249,701	△ 701	
機械警備費	62,000		62,000	61,718	282	
設備保全費	109,000	0	109,000	161,338	△ 52,338	
空調衛生設備保守	53,000		53,000	52,390	610	
消防設備保守	7,000		7,000	6,284	716	
電気設備保守	22,000		22,000	21,136	864	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,481	519	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	20,000		20,000	75,047	△ 55,047	
共益費			0	0	0	
その他	114,000		114,000	211,742	△ 97,742	
修繕費	126,000		126,000	75,454	50,546	予算：指定額
公租公課	△ 6,846,000	0	△ 6,846,000	0	△ 6,846,000	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他	△ 6,846,000		△ 6,846,000		△ 6,846,000	
その他			0	0	0	
支出合計	34,574,000	0	34,574,000	33,841,670	732,330	
差引	2,715,000	0	2,715,000	1,440,631	1,274,369	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	1,466,950	0	1,466,950	125,500	1,341,450	
自主事業 収支	△ 1,466,950	0	△ 1,466,950	△ 125,500	△ 1,341,450	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:長津田地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				13,610	14,722	-1,112	18,673	20,384	-1,711	61,035	62,941	-1,906			0
	その他	0	0	0	0	0	0	1,061	788	0	6,432	6,065	367	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0	6,432	6,065	367			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	13,610	14,722	-1,112	19,734	21,172	-1,438	67,467	69,006	-1,539	0	0	0
支出	人件費			0	6,283	4,395	1,888	13,836	14,688	-852	44,738	57,192	-12,454			0
	事務費			0	16	18	-2	73	66	7	112	731	-619			0
	事業費			0	12	19	-7	748	1,025	-277	14,405	24,233	-9,828			0
	管理費			0			0			0	7,110		7,110			0
	その他			0	5,495	7,748	-2,253	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0	5,495	7,748	-2,253			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	11,806	12,180	-374	14,657	15,779	-1,122	66,365	82,156	-15,791	0	0	0
	収支 (A) - (B)	0	0	0	1,804	2,542	-738	5,077	5,393	-316	1,102	-13,150	14,252	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	介護者のつどい	平成30年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護を行っている地域住民が、孤立せず介護に向き合えるようにする。	5：地域	5	介護者同士の語らいや交流の場を提供すると共に、具体的な介護技術やリフレッシュ方法を伝える。	6	42
2	エンディングノート		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	終活の一環として「エンディングノート」を実際に作成する。	1：高齢者	5	メディア等で取り上げられている終活の一環として「エンディングノート」を実際に作る方法を伝える。	0	0
3	もしも手帳		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	「もしも」手帳の使い方、活用方法を地域へ伝える。	1：高齢者	5	もしもの時に必要なものが揃っているグッズ「もしも」手帳の使い方、活用方法を地域へ伝える。	0	0
4	介護保険のいろは		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が安心して暮らし続けるために、いざという時に、どんな介護保険サービスがあるのか知る機会を設ける。	1：高齢者	5	介護認定を受けた場合、どんな介護保険サービスが使えるのか、また相談窓口について伝える。	2	28
5	ICT活用普及グループ「今からスマホ」	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者が、高齢になっても安心して暮らし続けるため、また、ICTを取り入れた便利な生活が出来るよう普及、支援していく。	1：高齢者	5	スマホを使用して日が浅い方や使用方法をあまり理解していない高齢者を対象に講座を開催する。	3	28
6	男性高齢者の集いの場「歴史講座」	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	定年退職された男性を対象とした講座を継続的に開催し、新たな「集いの場」として定着させる。	1：高齢者	5	介護予防に繋がる内容も反映する。また、新たな活動(ボランティア)等へも展開出来るよう推進する。	0	0
7	(仮)移動販売連絡会	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	移動販売を通じて、地域住民との関係構築、地域コミュニティ形成、新たな担い手を発掘する。	5：地域	1	年2～3回程度。エリア内の移動販売3拠点の情報交換の場とする。	0	0
8	地域支え合い講座	令和2年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域住民の「集いの場」「猫の手(生活支援)」の活動を支援する為、継続的に新しい担い手を増やしていくことを目的とし、「地域支え合い講座」を開催。	5：地域		地域住民の「集いの場」「猫の手(生活支援)」の活動を支援する為、継続的に新しい担い手を増やしていくことと、また新たな「猫の手」(生活支援)グループの立上げ支援、ネットワーク化を目指し、地域の支え合いを支援する。	0	0
9	親子サロン「ちょっとほっと・るーむ長津田」	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て世帯が孤立することなく、安心して子育てができる地域づくりを促進する。	3：養育者及び乳幼児	5	地域のボランティアによる親子で集うサロン。おもちゃや季節に合わせた歌などで、交流する。 ●毎月、第1・2水 10:00～11:30	22	545
10	中途障がい者ポッチャサークル「遊遊クラブ」	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	脳血管性後遺症等の中途障がい者を対象に閉じこもり防止し、当事者同士の仲間づくりや交流・生活意欲の向上等を促進する。	2：障害児・者	5	主に地域の脳血管性後遺症等の中途障がい者を対象に、リハビリのため「ポッチャ」を行う。また、年に数回、地域住民との対戦「ながびょんカップ」にて交流試合を行う。	28	262
11	キッズマネースクール	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	未就学児や小学生とその保護者を対象とした講座を実施し、地域ケアプラザを周知し、地域への関心を高めて将来の地域に関わる人材を育成する。	4：子ども・青少年	5	長津田地区在住の親子を対象として、知らない家族やボランティアと交流する。キッズマネースクールで生き抜く力を養う。	1	18
12	まちライブラリー	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	まちのあちらこちらで、メッセージ付きの本を置き、借り合うことを通じて、人の縁を紡ぐ。	5：地域	2	「まちライブラリー」を設置し、本の管理を行う。	0	0
13	地域活動支援センター「あしたば工芸」出店事業	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	「あしたば工芸」の対象者である「精神障がい者」と地域住民が、物販を通じた交流を促進する。	5：地域		「あしたば工芸」の自主製品であるクッキー等を利用者が販売する機会を提供する。 ●毎週金 10:30～12:15	49	646
14	ふれあい喫茶「もちーふ」	平成7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害者と地域住民との交流を促進する。※コロナ禍で活動休止中。	5：地域		長津田地域の障害者通所施設「横浜市つたのは学園」の利用者と家族会、ボランティアによる喫茶室の運営 ●毎月、第1・3木 10:00～14:00(ラストオーダー13:30) ●ミニコンサートや12月はクリスマスコンサートを開催	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	コーディネーターハウス	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	区民に広く「地域活動交流コーディネーター」業務を周知し、円滑な地域活動交流事業の推進を図る。	5：地域	7	地域活動交流事業紹介パネル展示、SDGsパネル展示等 缶バッジ作り、ミドリンと踊ろう！等	1	659
16	あおぞらといっしょ	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	長津田地区在住の障害児者とその保護者を対象とし、コロナ禍で集える場を基幹相談支援センター「あおぞら」と共催で隔月開催する。	2：障害児・者	5	・障害者が集える場、交流の場 ・奇数月開催	3	30
17	あおぞらといっしょ ふれあいコンサート	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	「あおぞらといっしょ」に参加した障がい者の演奏会を基幹相談支援センター「あおぞら」と共催で長津田地区在住の方を対象とし、障がい者理解のため年2回開催する。	2：障害児・者	5	・ギター演奏 ・ピアノ演奏	2	55
18	食支援	令和2年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少し「食」にお困りの方を対象として、長津田地区の支え合いによる食支援（食品の寄付募集＋配分会）を実施する。	5：地域		常温保存可能な食品、未開封の食品、賞味期限まで2カ月以上の食品等の寄付を9月に募集し、10月配分会を実施。	4	101
19	ボランティア交流会	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域で活動されている貸館利用団体やボランティアに、日頃の感謝を伝えるとともに、ボランティア相互の情報共有や連携を目的として、開催します。さらにボランティアの活性化、ネットワーク化を目指す。	5：地域		団体・自己紹介。GW悩んでいる事等	0	0
20	消費者被害講座		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民や民生委員、介護支援専門員を対象に、消費者被害についての啓発を行い予防を促進する	5：地域	5	全国消費生活相談員協会による研修を受けたボランティアに講義を依頼、6月に開催予定	1	9
21	認知症サポーター養成講座		2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させるねらい	地域の事業所や住民が認知症についての理解を深め、認知症当事者が暮らしやすい地域を作る	5：地域	5	地域の商店街や店舗向けに講座を開催する	1	11
22	任意後見制度・遺言書講座		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	法定後見利用前の任意後見制度について啓発を行い、合わせて遺言書作成についても学ぶ	5：地域		地域住民向けに司法書士から講義を行う	0	0
23	支援者の視点から考える「暮らしを守る家計講座」		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	生活に困窮されている方の相談を受けた時に知っておくと安心な家計に関する情報や支援について学ぶ	5：地域	6	生活支援課の協力を得て、家計相談員・ファイナンシャルプランナーである講師により支援者に向けた家計講座を実施。	1	16
24	子育てボランティア養成講座	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	自主事業親子サロン「ほっと・るーむ長津田」ボランティアの高齢化の課題解決のため、新たな担い手発掘のため連続講座を実施。	5：地域		第1回：子育て世帯を応援しよう 第2回：ボランティア体験しよう 第3回：公園であそぼう	4	12
25	ポッチャ体験会	令和4年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	ポッチャの需要が高まっており、多世代交流のツールとしてポッチャを地域に広めるため夏休み期間に実施。	5：地域		8/21(日)ポッチャ体験 講師：ポッチャサークルボランティア 当日申し込み制（事前予約なし）	1	8
26	長津田おたのしみ会	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍での高齢者の居場所づくりのため、また、団体Ⅱのボランティア活動の場づくりのため実施。	1：高齢者	5	第1回：コナミーズ（音楽演奏、歌） 第2回：ロケラニフラ（フラダンス） 第3回：OBAサウンズ（ハンドベル） 第4回：アンサンブルYU（マンドリン演奏） 定員：15名	8	163
27	緑区生活支援Co連絡会ICT活用班主催事業			1：優先的に取り組み	地域の高齢者が抱えているICT活用への抵抗感を低減する。	3：生活支援体制整備事業	1	第1回：「緑区にいながら海外旅行！写真でみる海外街歩きinイタリア～」 第2回：「あると便利★ちょっと楽しい♪スマホアプリ入門講座」 第3回：「歌うチャームング体操」	3	74
28	会場利用説明会・団体交流会		1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	貸館利用団体に向けて会場利用説明会を実施するとともに、団体相互の情報共有や連携を目的として交流会を実施する	5：地域		①会場利用団体説明会 ②ミニ会場利用団体交流会 コロナ禍で困ったこと・工夫したこと	1	15
29	パパ育児応援講座	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	父親を含めた子育て世帯の仲間づくりや相談場所を見つけるきっかけづくり、個々の課題の把握・解決の場として連増講座を開催。	3：養育者及び乳幼児	5	第1回：体を使った遊び&読み聞かせ等 第2回：乳幼児に必要な応急手当の方法を学ぼう！	2	46